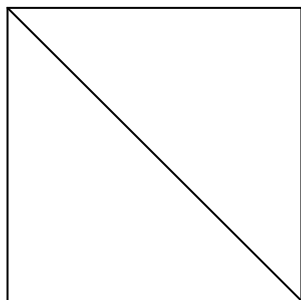
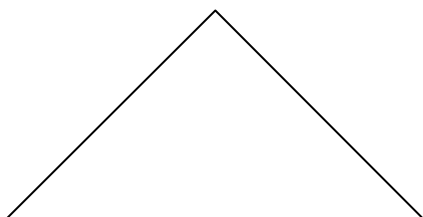
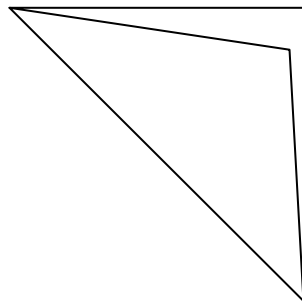


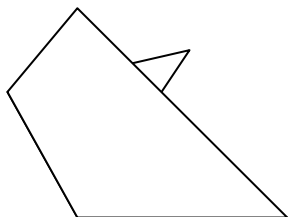
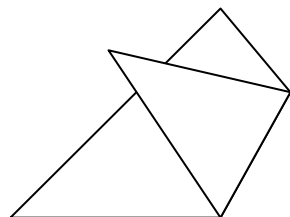
下準備 四角い紙から6角形を作る方法



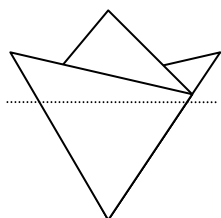
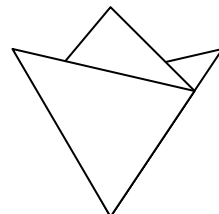
正方形の紙を対角線で折って、三角形にします。



向きを変えて、右下の角を、左上にもってくるようにおきます。

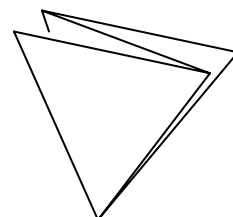


裏返しにして、もう一つの角も同じように折ります。このとき、下の角の大きさがなるべく60度に近くなるように折ると、あとできれいな6角形になります。



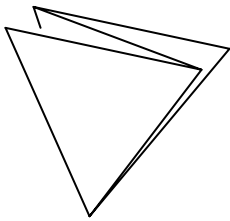
点線の部分をまっすぐ横に切ります。広げてみましょう。きれいな6角形になりましたか。

次に、切り目を入れてゆくために折り畳むときは、広げる前と同じように「パタパタ折り」にしておきましょう。



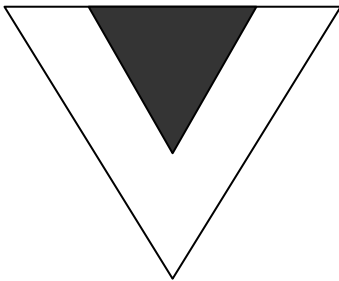
さあ、雪の結晶を作りましょう！

雪の結晶づくり



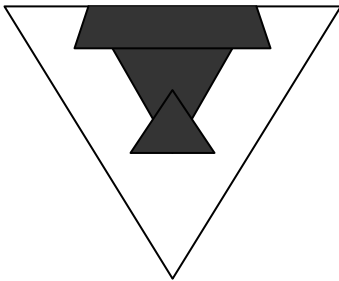
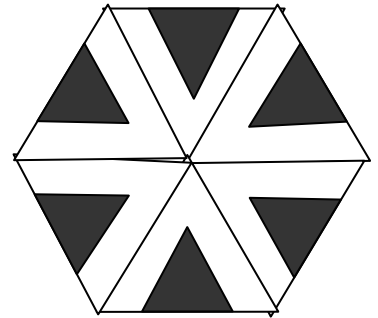
切り込みを入れる前に、六角形の紙は左のように「パタパタ折り」になっていますか。

基本練習



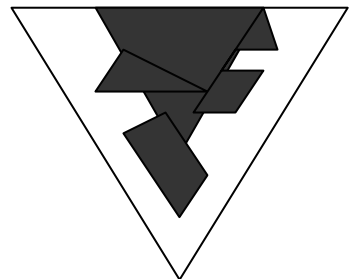
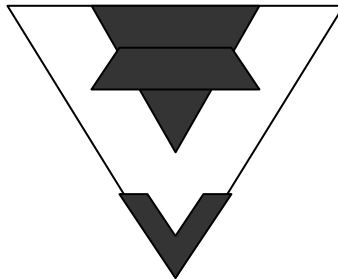
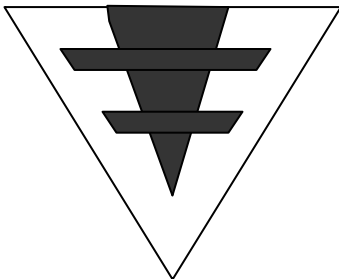
まずは、左の黒い部分をはさみで切り取ってみましょう。広げると...

右のような形になりましたね。



ではいくつか、簡単な例を紹介しておきます。雪の結晶らしく見せるポイントは、切り込みを直線に入れることです。

下のまん中のものは、開いたときに中心にも模様ができます。右のものは、切り込みが左と右で違っていてもふぞろいに見えますが、広げるとなかなか美しいものです。



さあ、ここからはあなたの自由です。紙の大きさを変えてみたり、いろいろな切り込み方を試して、広げたときの楽しさを味わってください。